



お 知 ら せ

Vol.3

いよいよ平成最後の夏の到来、贅会会員の皆さまお元気にお過ごしですか。この夏何か素敵な思い出ができるといいですね。

2015年10月に開催した古美研創立50周年イベントから3年経ち、当時、現役古美研役員としてお手伝いいただいた3年生メンバーも、すでに古美研OB2年目です。また、機関誌“贅”は第53号が発行されました。これからも母校古美研の発展を、贅会としても見守っていきたいと思います。

さて今年も「贅会からのお知らせ」をお届けする時期になりました。今後のイベントやこの1年の活動報告などをお知らせします。



■ 9月23日(日・祝)は同窓祭です！青山キャンパスに集合！！

＝古美研OB・OGによる古美研OB・OGのための文化祭＝



毎年9月23日に開催される大学同窓祭に、今年も贅会として参加します。

〔期日〕2018年9月23日(日・祝) 午前10時～午後4時

〔会場〕母校青山キャンパス 17号館3階 17311教室

今年の同窓祭は“古美研OB・OGによる古美研OB・OGのための文化祭”をテーマとしてOB・OGの皆さん誰もが気軽に顔を出せるような場を目指し、次のようなプログラムを予定しています。

- ①日頃の趣味の発表の場(書画、陶芸、写真、コレクション展示など)
- ②プレゼンテーション、ワークショップ(古美術や古都探索の情報交換など)
- ③模型展示(過去に作成されたもの、現役の作成模型など)

具体的には同封のご案内チラシをご覧ください。

この他に皆さんからも「こんなことをやったらどうか?」「〇〇さんがこんな趣味を持っている!」といった情報やアイデアを募集します。当日の会場は昨年も使用した300名定員の教室でスペースもたっぷりあります。趣味の作品・収集品の展示など、**まだまだ出品を受付中**です!これはと思う情報がありましたら是非お知らせください。ご連絡はHPのお問合せページまたは下記連絡先までお願いします。



現役の模型(今年の青山祭)

メールアドレス: ishdatamikai@gmail.com

電話: 亀村 080-9556-7145 飯田 090-9102-6471

当日は懐かしいメンバーの再会の場、憩いの場として楽しいイベントにしたいと思っておりますので、お一人でも多くの方のご参加をお待ちします! 学生時代の懐かしい写真をパネルに掲示しますので、皆さんも昔の写真を是非お持ちください。“あの時”の記憶をよみがえらせ、盛り上がりましょう!!

■ 10月20日(土) 古美術を語ろう会 “コンドルを追え!”

今回の古美術を語ろう会は、明治時代に活躍した英国人建築家ジョサイア・コンドルの建築物を中心に都内の財閥庭園などを訪れます。見所はコンドルが設計したニコライ堂と旧岩崎邸(どちらも重要文化財)、秋バラの旧古河邸(和洋混在の庭園との絶妙な調和は必見)。併せて広重「江戸百景」の舞台である湯島聖堂、神田明神、湯島天神も巡りましょう。また意外と知らないテーマパーク“上野のお山”へも足を延ばします。

＜実施日＞2018年10月20日(土) ＜集合＞9時JR御茶ノ水駅聖橋口改札外

＜解散＞16時頃JR上中里駅予定 ＜その他＞歩きやすい服装で。途中参加離脱可。

詳細は贅会HP、「あなたと青山学院 No.27」にも掲載しています。

お申込みは右のメールアドレスまで。 ishdatamikai@gmail.com



旧古河邸

※ 昨年11月、荒天のため中止となった『武蔵野の自然と古刹 平林寺・正福寺をゆく』は、今秋以降に改めて計画し、詳細決定次第HPでご案内します。

2017年 同窓祭 実施報告



上：河合敦さん
下：講演会風景



昨年9月23日の同窓祭は総会としては2回目の参加、前年同様「講演会」と「展示会」を実施しました。講演会の講師は古美研OBの河合敦さん（歴史作家・歴史研究家）。今まで習ってきた日本史の常識を覆すような大変興味深い内容で、小学生から人生の大先輩まで老若男女160名が聴講しました。

また展示会は、古美研OBには学生時代からお馴染みの写真家、故入江泰吉氏が撮影した大和路の風景や仏像・建築物の写真20点を、「入江泰吉記念奈良市写真美術館」の多大なるご協力を得て展示しました。約180名の方が来場されました。

今回は同日に総会・懇親会を開催したことや、早朝の備品搬入時の雨天対応など多くの労力を必要としましたが、運営スタッフとして支えていただいた方々の熱意、また奈良市美術館木村氏の多大なるご協力を得て、それらの困難を乗り越え滞りなく実施することができました。

あらためてご協力いただいた皆さまに感謝いたします。



入江泰吉写真展風景

2016～17年度 総会・懇親会 開催報告

同窓祭と同日の9月23日、青山キャンパス17号館17311教室にて総会が開催されました。当日は出席者61名、会則に基づき会長が議長となり次の4件の議案が審議されました。その結果すべて原案通り可決承認されました。

詳しくは総会HPの議事録を参照願います。

- 〔第1号議案〕 2016年度・2017年度年度事業報告
- 〔第2号議案〕 収支決算報告及び監査報告
- 〔第3号議案〕 会則変更
- 〔第4号議案〕 役員改選



総会風景

また、夕方からは宮益坂のイタリアンレストラン「タパス&タパス」にて懇親会を開催し、54名が参加しました。2015年10月の「50周年記念総会・懇親会」以来の大パーティーで大いに盛り上がりました。



懇親会風景

4月21日 春の鎌倉物語 実施報告



鎌倉文学館にて

江ノ電由比ヶ浜駅に集合し、鎌倉文学館・甘縄神明宮・高德院（鎌倉大仏）・光則寺・長谷寺・御霊神社・極楽寺を巡りました。

参加者は当然？鎌倉リピーターばかりですが、年に数回来ている人や30年ぶりという人もいてお互いの情報交換で話に花が咲き、学生時代に戻って道中はワイワイガヤガヤ。

初夏のような日差しの中、和やかで楽しい散策会になりました。

この春の古美術を語ろう会を4月21日に実施しました。晴天の中14名が参加、行先はおなじみの鎌倉です。昨年12月に封切られた映画『DESTINY 鎌倉ものがたり』にちなんで、人間も幽霊も魔物も神様も仏様もみ〜んな仲良く暮らしている？という長谷周辺を散策しました。

この地域は是枝監督の『海街diary』をはじめ多くの映画作品のロケ地にもなっていて見どころ満載！



上：鎌倉名物 生しらす丼を満喫！ 下：長谷寺門前にて

■ 連絡先登録及び変更連絡等について（お願い）

青学時代に古美研に在籍していた人はいったい何人ぐらいでしょう？ 答えは1,047名。ほぼ正確な数字です。これは創部後最初の卒業生(1966年卒)から本年3月卒業生まで53年間の累計です。なぜそんなに正確な人数がわかるのでしょうか？

古美研には“鶯”という毎年発行される素晴らしい機関誌が残されています。“鶯”には毎年の学年別在籍者が掲載されており、貴重なデータベースとなっています。(20・21号の2年分が行方不明ですが、前後の年から在籍者を推定できます。)

このデータを元に「1年でも古美研に在籍したことがある方」を集計すると上記の数字になります。このうち事務局で連絡先を把握している方は現在436名です。(物故者17名を除く。)

Eメールアドレス登録者にはHPの更新(年30~40回程度)の都度【鶯会通信】をEメールで、現住所登録者には年1回【鶯会からのお知らせ】(本紙)を郵送でお届けしています。ただ、毎回Eメール不達や郵便物が宛先不明になる方があり、残念ながらお届けできないケースが発生しています。変更等の際には事務局宛ご一報いただければ幸いです。またEメールは、せっかくご登録いただいても『迷惑メール設定』になっていたりして不達で戻ってくるケースが多発しています。恐縮ですが、お心当たりの方は設定を変更願います。

また、仲のよい同期の方などで今まで鶯会からの連絡が来っていない、という方がいましたら是非事務局に連絡し現住所、メールアドレス等を登録するようお勧めください。

メールアドレス：ishidatamikai@gmail.com

電話での連絡先：飯田 090-9102-6471

連絡先不明者に対する確認調査を引き続き行っていきたいと思いますので、皆様のご協力よろしく願います。



“鶯”創刊号

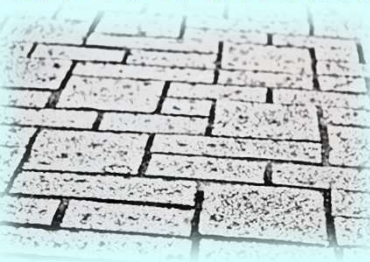


“鶯”第53号

■ 『鶯』の名称 誕生秘話

皆さんは機関誌“鶯”や本会の名称の鶯会がどのように誕生したかご存知ですか？

2015年10月発行の「鶯50周年特別記念号」に掲載されている〈座談会「古美研の“草創期”を語る」〉の中の、鈴木立夫さん(69年卒、絵画班)のお話を掲載します。



『～私が古美研に居たことで一番誇れるとしたら、OB会の名前にも残っているこの名を提案したことだと思っている。水煙、白毫、青山古美研だから青古など色々な案が出て、最後に残ったのは鴟尾と鶯だった。提案した理由は、何度も行った唐招提寺の金堂に向かう石畳だった。建物も仏像も古美術を求めて訪ねるイメージがあった。国語大辞典で石畳を引いたら、別に“鶯”と書いてあったので、これだと思った。好きだった秋篠寺の秋の字も入っているし、最後に残った

鴟尾も、提案した人のイメージは唐招提寺の金堂の屋根に乗っているところからの提案だった。いずれにしても鑑真和上の導きかもしれなかった。～』

なるほど、ひょっとしたら今頃私たちのOB会は「鴟尾会」になっていたかも知れませんか。ただし、語呂は今の「鶯会」のほうがよさそうですね。

■ 現役古美術研究会との交流及び支援活動の報告

「青学古美研との交流と支援活動」は鶯会事業方針三本柱の一つです。

以下この1年間の活動報告です。

昨年11月、青山祭展示会場を訪問、その後開催された打上げコンパに会長・副会長3名が出席しOBとしてご挨拶するとともに、会長から活動支援金を贈呈しました。

また、本年1月に古美研役員3名/鶯会役員4名とで意見交換会を実施、それぞれの活動状況を報告し交流を深めました。さらに本年2月に開催された4年生追出しコンパに会長・副会長3名が出席、4月からのOB・OGすなわち「新鶯会会員」の皆さんに歓迎の意を伝えました。



意見交換会

■ 江戸折箱の老舗工房、浅草『木具定(きぐさだ)商店』(OG紹介)



同窓祭(9/23)で
展示予定です

食器類の専門店が並ぶ浅草合羽橋道具街から少し東に入った路地に江戸時代から続く老舗『木具定商店』があります。社長は74年卒OGの信田(小島)喜代子さん(史学科・工芸班)。木具とは薄く切った檜やエゾ松を加工して作る折箱や三宝などで、伝統的工芸品の一つです。昭和の頃、観劇や旅行でのお弁当箱は必ずこの木の香あふれる折箱でしたが、最近は合成樹脂類が主流で見かけることも少なくなりました。木具を屋号に持つお店も全国で数軒とのこと。

卒業後、美術館勤務などを経て父親から家業を引き継いだ信田さんは、「以前に比べ需要は激減しましたが、木は環境にやさしい材料でありこの日本特有の『木の文化』を未来に継承していきたい」と、昔ながらの製法で作っています。最近は海外需要の掘起しや、モビールなどの木工キットを手掛けたりして、「木の魅力」の発信に取り組んでいます。

懇会としても信田さんの今後の活躍にエールを送りたいと思います。



信田喜代子さん

■ 古美研OBサロン&彫刻班OB会 実施報告

日比谷『むつ新』での恒例のOBサロン、6月5日(火)は彫刻班OB(1976年卒迄)懇親会との合同開催でした。彫刻班20名とサロン参加者に加え現役の渡邊会長と有山総務部長にも参加いただき、総勢36名と過去最多の出席人数となりました。現役と最高齢OBとは実に50歳以上の年齢差ですが、古美研在籍者という「きすな」で確実につながっていることを実感した、楽しくも素晴らしいひと時でした。

次回OBサロンは8月3日(金)18時~です。初めての方も大歓迎ですので、お気軽にお越しください。(懐かしいメンバーと顔合わせできますよ。)

※「むつ新」(千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル 電話03-3580-7177)にて
偶数月5日に開催(土日のときは金曜日)会費男性4,000円、女性3,600円



お店をはみ出し記念撮影

■ 1968~72年卒のOB・OG京都奈良旅行 実施報告



寿宝寺門前にて

5月13~15日の2泊3日で京都奈良方面の旅行が実施されました。参加者は日帰り参加も含め16名。以下、幹事T氏からの報告です。

初日は奈良と平等院と大原の3コースに分かれ散策しましたが、生憎の雨で早めに散策終了。個々のグループで夕食、久しぶりの再会で歓談。

二日目は奈良から貸切小型バスで京都の南エリア・南山城コースをセケ寺の散策です。(浄瑠璃寺・岩船寺・蟹満寺・禅定寺・寿宝寺・観音寺・一休寺)

国宝や重文の十一面観音巡礼の見応えがある散策コースで全員感嘆、感激しきりでした。京都に夕刻着き、乾いた喉にビールで乾杯、その後3時間、学生時代の懐かしい思い出話、家族構成話や病歴話等話題が尽きず大盛り上がり。最後に「学生時代」と「カレッジソング」を唄って懇親会もお開き。

三日目は「桂離宮」と「仙河御所」2班に分かれ拝観後、葵祭を見学し、その後個々に散策なり、買い物等で3時過ぎに京都を後に「大人の合宿」も無事終了でした。

■ 寄付のお願い

懇会は皆さまの会費と寄付金で運営しております。できる限り経費節減に努めておりますが、現在の資金はあまり潤沢ではありません。皆さまからのご寄付大歓迎です。一口千円、何口でも結構です。振込先は次のとおりで随時受付けています。皆さまのご厚志をお待ち申し上げます。

ゆうちょ銀行
(口座記号番号) 00100-7-634149
(口座名義)「懇会」(インダタミカイ)

ゆうちょ銀行以外からの振込み
(銀行名・口座) ゆうちょ銀行019店
当座0634149
(口座名義)「懇会」(インダタミカイ)

<会員の連絡先調査と個人情報の取り扱いについて>

事務局ではお一人でも多くの古美研OB・OGの方々の連絡先調査を行っております。皆様のご協力をいただきたくよろしくお願いいたします。なお、皆様からお預かりした個人情報は懇会及び古美研活動にのみ利用し、それ以外には一切利用しません。(個人情報管理責任者=会長、個人情報管理者=総務担当副会長)

■発行日:2018年7月15日 ■発行責任者:長谷川和芳(74年卒) ■総務担当副会長:飯田貞年(74年卒)
■連絡先:<Eメール> ishidatamikai@gmail.com <携帯電話> 飯田090-9102-6471 長谷川070-3824-2800
■ホームページ:http://ishidatamikai.jimdo.com/ ホームページの「お問い合わせ」ページからもコンタクトできます。